

会派視察・研修報告書

会派名 公 明 党

代表者名 寺島 芳枝

1 日 に ち	令和 3 年 1 月 28 日 (木) 14:00~17:00
2 視 察 先 研修名、主催者及び会場	研修名：第 44 回都市計画セミナー コロナ禍により変化が加速する都市・社会の姿を展望し、これからの都市計画を考える ～加速するデジタル化とスマートシティ～ 主催：公益社団法人日本都市計画学会 開催場所：オンライン開催
3 参 加 者	片山 竜美
4 調査・研修のテーマ	加速するデジタル化とスマートシティ
5 主な内容	① 国土交通省におけるスマートシティの取組 筒井祐治氏 ② 羽田空港跡地第 1 ゾーンにおけるスマートシティの取組 忽那知輝氏 ③ 豊洲スマートシティについて 宮田幹士氏 ④ 宇都宮市における「スマートシティ」の取組 小室 崇氏 ⑤ 岡崎市が目指すスマート×まちなかウオーカブル ⑥ トークセッション「加速するデジタル化社会とスマートシティを考える」
6 所感、提言事項、課題等	【議員氏名】片山竜美 ・政府の方針でもスマートシティの実現に向けた取組の加速化を位置付け、国土交通省中心に懸命に取り組んでいることが理解できた。 ・「スマートシティ」とは、災害への脆弱性、交通弱者への対応など、それぞれの街が抱える課題に対し、交通・人流、気象、建物など様々なデータを重ね合わせ、また、AI、IoT 等の新技術を活用し、その解決を図ることで、市民に安全、安心な生活や利便性、快適性を提供するまちづくりのことと定義づけられている。 ・本年度中に各自治体向けにガイドブックが発行され、これから一層、推進されることになる。 ・各自治体の取組を紹介したが、どれも市民・自治体・企業にとって有益なものばかりであったが、自治体の長が、市民への説明を粘り強く行って、納得と理解の上で推進していることが印象的であった。 ・トークセッションでは、スマートシティ特別委員会の 3 つの委員会より、検討事項やその進捗状況、課題などが報告された。その中でも、「スマートシティは手段であり、都市構造を「スケルトン」と「インフィル」で捉え、その将来像を探る」という考え方に共感した。 ・12 月の本会議で質問した「デジタル化やスマートシティ」については、多治見市の将来を考えるうえでとても重要であり、これから私たち議員もしっかり学んでいかなければならないと感じた。